

**平成29年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ネレワロ市ウォルムネレ小学校整備計画」の事業完了**

2020年9月10日、江原功雄駐モーリタニア大使と、ネレワロ市のアブドゥル・エリマネ・アシー市長は、「ネレワロ市ウォルムネレ小学校整備計画」の事業完了を迎えました。

この計画は日本大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力により74,895ユーロ（約3,100,000ウギア）が、ネレワロ市に提供され、学校の学習環境と職場環境の改善のため、6教室、トイレ、外壁が建設されました。

江原功雄日本大使のコメント

新型コロナウイルス感染症の影響で長い間休校期間があった後、子ども達のより良い環境での学習再開に貢献できることを嬉しく思っています。また、事業のすべての成果が、継続的な利用のために維持管理され、末永くこの国の未来である子供達の教育のために使用され続けられることを望んでいます。また、子供達も大人たちの期待に応えてこの学校で懸命に勉強することを期待しています。

日本政府はこれまでモーリタニアにおいて、教育と人づくりが国の発展と貧困削減にとって何より重要であるとの考えに基づき、教育分野の支援を、国及び地方レベルで実施してまいりました。これらの取組みは、モハメド・ウルド・ガズワニ大統領閣下の政策の重点分野にも合致するものです。江原功雄大使は、この重要な事業を通じて、何よりも両国の友情と連帯が更に強化されることを望みました。

被供与団体コメント

このプロジェクトが実現したことをうれしく思います。事業期間の延長はありましたが、我々の村は今、その名にふさわしい教育機関を得ることができました。国のスタンダードに沿った、とても美しい学校です。

我々のウォルムネレの子供たちは宝石を手に入れ、最適かつ品位ある教育を受ける機会を得ます。大使閣下、そして関係各者の皆様に感謝を申し上げます。

